人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

38号

大日化成株式会社
〒571-0030　大阪府門真市末広町 8-13
TEL：06-6909-6755　FAX：06-6909-6702
URL：http://www.dainichikasei.co.jp

通気緩衝工法　水分を逃がし防水層の割れ・ふくれを防ぎます
BIGSUN
RX 工法

2017年を迎えてご挨拶

代表取締役　小林 直樹

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様には弊社製品を大変ご愛顧賜り謹んで御礼申し上げます。

昨年は、熊本地震や鳥取地震があり、災害を受けた方々は今もなお、困難な生活を余儀なくされておられます。現地が復興されるのはまだまだ時間が必要であり、被災された方々が元の生活に一日でも早く戻られるようお祈りいたします。

日本全国、地震や津波は何処で起きるか解りませんので、非常食の常備や日頃の訓練を怠らない事が肝要に思います。

さて、昨年はアメリカの大統領選挙でトランプが勝利しました。多くの予想を覆したと言うか評論家やマスメディアに翻ろうされた結果、アメリカの現状を僅かながら知ることが出来ました。

経済大国世界一のアメリカの大統領が保護主義になるのかと世界中が動揺しており、日本においてもTPPや防衛等、修正を余儀なくされることと思われます。

安倍首相が早々にトランプと会合を持ったことは、今後、日米関係を非常に有意義なものにするでしょう。今年は、トランプ大統領の極端な行動で右往左往させられることになるか、あるいは意外と平穏な政治を進めて行くか楽しみにしておりますが、ただ、この大統領選挙で学ばせて貰ったのは、評論家やマスメディアを鵜呑みにすることなく、自分の目で現状を確認する、多くの情報を集積した上で、判断をしなければいけないという教訓だった気がします。

近年の日本においては、昨年も沢山の外国人が日本に観光にきており、観光産業は活発に業績を伸ばしていますが、建築土木業界は相変わらず人手不足で、特に若い人の就業が減少しており、今後もこの傾向は続いていくことと想定できます。

外国人労働力は、益々増大しながら、あらゆる業種に浸透をして行きます。特に都市部においては、外国人法人等の不動産の所有をよく耳にしますが、日本の伝統や文化が次第に変化してしまうのではないかと危惧しております。

時代と共に都市も農村も自然環境も変わる、よく言えば進化して行くでしょうが、日本の伝統や文化や習慣が世界の荒波に呑み込まれ、味気ない郷土とならないことを望んでおります。

弊社は環境と人にやさしい製品を主眼に置いた開発をして参りました。使用される方々に喜んで頂ける製品とされる方々に、昨年は、無臭で火気にも安全な「スカイコートW」という水系一材型ウレタン製品の販売を致しました。

この製品は水系でありながら、透明度、伸度、強度、耐候性、耐水性に非常に優れた物性を有した塗膜になり、外壁タイル等の保護やコンクリートの防水用途でご使用頂けます。

また、一材型の塗膜のため撹拌ミスも無く、ローラーで簡単にご使用いただけます。そのうえ火気の心配や水系ですので臭気が無いためにご施工者の健康被害もなく、どなたにも喜んで施工して頂ける筈です。

本年も、安心安全なBIGSUN及び大日化成製品をご愛顧して頂けますよう、お願い申し上げます。

最後に皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

薄層屋上緑化技術協会 第7回 屋上緑化講演会

例年恒例となった屋上薄層緑化技術協会の第7回講演会が大盛況のうちに終わりました。

「今回は都市の緑を再考する」と題し、東京国際フォーラムにてとり行いました。

講師には国土交通省 都市局 公園緑地・景観課長の町田 誠 氏、株式会社竹中工務店 技術研究所リサーチフェローの三輪 隆 氏、田島ルーフィング株式会社会長の田島常雄 氏、という都市緑化の重鎮である御三方にご登壇頂き12年前に薄層緑化技術協会を立ち上げた当初の状態から現在までの状況を振り返り、都市緑化の目指す未来を提言頂きました。

田島先生からは協会員も多く経験した屋上緑化の失敗例も含めて勇気を持って発表して頂きました。

聴講された皆様もかなり熱心に聞いていただき、中身の濃い講演会であったと考えます。今までは、一般的な講演会を開く際にかなり宣伝努力してようやく会場いっぱいの人にお集まりいただく、それでも足らずに俗にいう「動員をかける」事が当たり前となることが多い中で、今回は全く自然に普通のPRをしただけで会場定員以上の方のご参集となりました。

一つの原因としては特殊緑化での「有名人」にご講演いただけたことと、当協会の活動が次第に広まったこと及び毎回、そうであるが実際の都市緑化の問題点をクリーンに、尚且つタイムリーに取り上げることが出来たことが大きな原因と考えます。

世の中が未だにデフレ思考から脱却できずに「安ければ良い」「効率最重視」や安直な拝金主義がまかり通る中で、「こころ」を大事にする協会活動とそれに企業として参画できた大日のことを誇りに思います。

これからも、自然と人間にやさしい製品づくりをモットーにして製品開発を行ってきた弊社の路線を堅持しつ、豊かな日本を創る礎になれば光栄と考えます。

◆講演内容のご紹介

町田 誠 氏
建築敷地内の緑がもたらしたもの・緑の効果
○都市公園法と都市緑地法、緑化の動向
○屋上緑化・壁面緑化について
○都市に於ける緑の役割と今後の取り組み

三輪 隆 氏
建築・都市のサステナビリティと屋上緑化
○都市で生物多様性が必要な理由
○公共投資の向かう先がグリーンインフラ
○ポートランドの例

田島 常雄 氏
実践、屋上緑化を探して25年間
○屋上緑化は防水技術と園芸技術の組み合わせ
○屋上・屋根表面温度を下げること、雨水を蓄えることが重要
○管理型の芝生（タープ）と放型のセダム（茎葉撤去）の25年間の観察記録株式会植え

こんなところで活躍しています

駐輪場屋根（VUS500）

スカイレジン＜下地調整材＞
スカイレジンWE
エポフィラー
プライマーE
EPC－T
水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。
溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です！

BIG SUN
＜土木用防水材＞
ポリマーセメント系塗膜防水材

BS・ラピタルエース
＜速硬型軽量プレミックスモルタル＞
コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル

霧ケ峰シリーズ
節電できる壁面緑化を実現！